

センター試験 地理B (本試験) ワンポイント解説

第1問	問1	プレート境界に関する問題。C地域はマリアナ海溝を形成していることから広がる境界ではなく、狭まる境界であると判断できる。
	問2	最も高緯度に位置するレイキャビクは最暖月平均気温が低い②と判断できる。
	問3	問題文の「プレートの動きにともなって土地が隆起した」という記述から、新期造山帯地域の地域であるとわかり、Kを削除できる。あとは、新期造山帯地域の中で最も降水量の少ないNが解答となる。
	問4	土壌に関する問題。▲で示された地域はすべて温帯地域となるため、褐色森林土の②が正解となる。
	問5	aについては火山の大規模噴火により、噴煙で太陽光が遮られ、気温は低下する。したがってaの文章は誤となる。bのエルニーニョについては、南米沖で多雨、東南アジアでは少雨となるため正であるが、教科書レベルを超えた知識であり、難しい。
	問6	Pについては日本周辺に雲がほとんど見られないことから高気圧に覆われていると考えられる。Qはオホーツク海に発達した雲から北西の季節風と判断でき、寒波による大雪の被害が予測できる。Rは帯状に伸びた雲から梅雨前線、秋雨前線などの集中豪雨の被害が考えられる。
第2問	問1	農作物の自然条件についての問題。まず、熱帯性作物のバナナ、ロシアなど北方で生産されるライ麦をそれぞれ①、④と判断する。綿花は樹木作物のため、高緯度地域での栽培は困難となり、②であると判断する。したがって、消去法で③が大豆であると判断する。アメリカ合衆国での綿花・大豆の栽培地域を思い出せば判定は容易となる。
	問2	B地域では、伝統的に焼畑農業が行われているため、稲作は盛んではない。
	問3	ソ連時代にアムダリア川、シルダリア川の一帯で綿花栽培が行われ、アラル海の縮小につながった。
	問4	まず、日本に●がついている②④は輸入の資料であると判断し削除できる。①③の判断はオーストラリアに●がある③が牛肉であると判断できる。豚肉の生産割合は中国が圧倒的である。
	問5	まず、土地生産性も労働生産性も低いYは南アジアであると判断する。北アメリカと西ヨーロッパでは、北アメリカのほうが大規模経営をしているため、Xが北アメリカ、Zが西ヨーロッパであるとわかる。
	問6	日本はすでにトウモロコシなど大量の遺伝子組み換え作物の輸入をしているが、この図表から読み取ることではできないため、①～③を図表と照らし合わせて残った④を選択する。
第3問	問1	まず、オーストラリアは首都キャンベラが高原に建設された政治都市であるために人口は少ない。そのため、★がない③だと判断できる。 次に、メキシコはタイのバンコクと並んで代表的なプライメートシティ（首都への一極集中）であるため、★の都市の人口が圧倒的な①だと判断できる。 トルコとイタリアの判断はイスタンブールという首都ではない最大都市を抱えるトルコが②であるとわかる。
	問2	中心の歴史的建造物を保存し、周辺域に高層ビルを建設するヨーロッパと、中心地区に高層ビルを建設するアメリカの都市構造から、イがシカゴであるとわかる。 モスクワとパリの判別は、副都心ラ・デファンスを持つパリがウであるとわかる。
	問3	林地が縮小しているのは地図を見れば明らかのため、その理由を説明している③が正解となる。
	問4	まず、全体がカトリックであるAのイベリア半島をキと判断する。次に、アルバニア、コソボにイスラム教徒が多いことから、Cがカと判断できる。
	問5	スリランカの多数派民族シンハリ人が仏教徒であることから①と判断できる。
	問6	インド国内にはヒンドゥー教徒、イスラム教徒ともに多く、牛肉・豚肉を使った食べ物を提供することが難しいことから、④がインドであると判断できる。

第4問	問1	①のサケやニシンから沿岸部を中心としたB地域であると判断する。 ②は砂漠やメキシコの主食であるトウモロコシからD地域であるとわかる。 ③④の判別はAが針葉樹林、Cがプレーリーと呼ばれる温帯草原であることから、草原地帯との記述がある③がCであると判断できる。
	問2	セントローレンス川流域、ミシシッピ川流域はかつてフランス植民地であったことから「イ」がフランス語であるとわかる。メキシコ国境付近はスペイン語を使うメキシコの影響が考えられるためウはスペイン語であるとわかる。
	問3	大学院修士号以上の取得者割合が低い③④はアフリカ系・ヒスパニックであると判断。次に、製造業従事者の割合が高い①が、人件費の安価なアジア系であると判断する。
	問4	まず、メキシコで圧倒的に多い③をトウモロコシと判断する。次に、日本で多い④を米と判断。①②の判断は、主食となり、日本でもパンや麺類に使用され、どの国でも一定以上消費される①が小麦であると判断する。
	問5	南部地域は伝統的に綿花栽培を中心とした農業地域であるために、誤りであると判断できる。
	問6	まず、1987年にはランクインしていないにもかかわらず、2009年に1位になっているN国は中国であるとわかる。続いて、1987年に1位であったK国は日本であるとわかる。マキラドーラ、NAFTAでアメリカ企業が進出し、額が大幅に上がったL国がメキシコであると判断する。
第5問	問1	一人っ子政策は中国独自の人口抑制政策であるため、誤りである。
	問2	緑の革命は米だけではなく小麦などの多収量品種の開発と導入を進めたため、①②は削除できる。また、農薬や化学肥料の製造には石油などの化石燃料を使用するため、③も削除することができる。したがって、④が正解となる。
	問3	まず、単位面積あたりの収量の伸びが小さいイが、技術革新の進んでいないアフリカであると判断する。緑の革命による食糧増産はアジアにおいて最も成果を収めたので、穀物生産量の伸びが大きいアを東南アジアだと判断する。
	問4	①についてはナイジェリアのビアフラ地域で発生した採掘権争いは石油についてであるため、誤り。 ②については、鉄道ではなくパイプラインで輸送されているため、誤り。 ④はインドネシアが南シナ海に面していないため、誤り。
	問5	スペインはドイツと並んで風力発電など再生可能エネルギーを国策として推進している国である。
第6問	問1	上流から下流に向かって峡谷から平地へと変化していくため、全体図でそれぞれの位置を確認し、それに当てはめていけば良い。
	問2	沢間駅の対岸にあるのは神社のほかには発電所ではなく工場であるので、誤り。
	問3	ア・イの判定は地域史に関する知識問題であるため、アが山間地域の倉平で焼畑が行われていたと判断する。難問である。
	問4	架橋位置に新旧の地図でずれがあることに気づけば④が正解であるとわかる。
	問5	まず、漁業従事者が存在するクは臨海部の吉田であるとわかる。 続いて、林業従事者の比率が最も多いキが川根本町であると判断する。
	問6	まず、扇状地は河川が上流から運搬してきた土砂を堆積して形成する地形であるので、堆積地形であることが判断できる。次に、Rの位置は河川の流水方向である北西側に護岸の必要があるとわかるので、③が正解となる。